

第1回野洲市商工業振興基本計画検討委員会 議事録要旨

- 日 時 令和7年9月9日（火） 14:30～16:30
- 場 所 野洲市役所 本館 2階 庁議室
- 委 員 <全員出席>
田中 勝也 委員長、木村 靖 副委員長、杉田 浩一郎 委員、北中 良幸 委員、
山本 真嗣 委員、 中吉 貴志 委員、 橘 円 委員、 水島 左知子 委員、
中塚 誠治 委員
- 市 長 櫻本市長（途中退席）
- 事務局 環境経済部 西野次長、
地域経済振興課 土川課長、宇都宮係長、中小路主査、深見主事、川波
- 傍聴者 なし

1. 開会

2. 市長挨拶

3. 委員紹介

4. 議事事項

・委員長・副委員長の選任

田中勝也委員を委員長に、木村靖委員を副委員長に選出する事務局案を承認していただいた。

・野洲市商工業振興基本計画中間見直しのスケジュールについて（事務局）

次回、第2回委員会を11月6日に開催することを決定した。

・野洲市商工業振興基本計画中間見直しの概要について（事務局）

→委員からの意見や質問は下記に記載

6. その他 委員からいただいた意見や課題を整理する。

整理した計画案について改めてご意見をいただき、次回会議までに事務局案として提案する。

7. 閉会

❖委員からの主な意見・質問

◇野洲市の産業環境

【委員】

- ・目標数値については、事務局案の提示が必要ではないか。

野洲市については、これから駅前の開発や高専の設置など大きなプラス要因があるので、そのような事情も踏まえるべき。

→【事務局】

- ・数値については、事務局案としても作っていいと思う。ただ、計画の創業塾より下の欄のところは、商工会さんとの話も必要であり、予算的などところも連動しており、こちらだけの話では決められないと、思っている。

◇商工業振興基本計画の内容について

【委員】

- ・第3章が抽象的すぎる。施策に対して、具体的な数字が欲しかった。中間報告であれば、現在の進捗状況（どれだけ何をしてきたか、数字だと何%）など記載されているとよい。目標にむけて、やるべきことの役割の明確化も必要。イメージは三章の各項目で KPI があるイメージが理想的。誰がそれぞれどこまで何をするか

→【事務局】

- ・令和2年に委員会が設置され、令和3年度に計画が策定された経緯があります。当時はまず計画を立てることが中心で、現在は10年スパンの中で中間見直しの時期に来ています。
ご指摘のとおり、第3章ではこの5年間の成果や具体的なパフォーマンスの「見える化」が不十分な点があり、特に市街化区域の拡大については、例えば市街化編入率のような数値を用いて、進捗を示すことは可能だと考えています。ただし、それをどこにどのように示すかについては、今後事務局で検討・精査させていただきます。

◇「地域」の表現について

【委員】

- ・本計画は将来にわたって活用されるものであり、他市の方が見ても分かりやすく、良い印象を持たれる内容にすべきだと考えています。その中で、4ページ以降に繰り返し使われている「地域」という表現について、これは野洲市の計画である以上、「野洲」と明記すべきだと感じました。「野洲の資源を活用」「野洲ブランドの創出」といった具体的な表現にすることで、市民にも伝わりやすく、インパクトのある内容になります。誰が見ても分かりやすく、特に子どもでも理解できるような計画とするためにも、「地域」ではなく「野洲」と明確に記載するよう改善をお願いしたいです。

→【事務局】

- ・ご指摘の「地域」という表現についてですが、該当部分は条例に基づくものであり、仮に「野洲」や「野洲市」へ表現を変更する場合は、条例の改正が必要となります。また、「地域」という表現は他の条例や要綱にも広く用いられているため、整合性の観点からも慎重な対応が求められます。ただし、今回見直しを行っているのはあくまで計画であり、この計画内の文言であれば「地域」を「野洲市」といった具体的な表現に変更することは可能と考えています。したがって、ご意見を踏まえた上で、計画の中での表現については「野洲市」への変更も含めて、見直しの検討を進めてまいります。

◇事業者への支援について

【委員】

- ・野洲の地域で働いてる方、これらの方々がどれだけの方が野洲に在住されてるかとか、野洲の労働生産性人口というのは実際調べるべきだと思う。
- ・商工会に相談に来られるような、個人企業さんなどの中には、野洲で創業しても数年したら、野洲市から人口や企業数が多い市町に出店しなおされる方がいる。この流れを止めないといけない。
- ・栗東市ですら、野洲市の4倍の商工費がある。野洲市も栗東市と同額ぐらいの予算が必要であると考ええる。

→【事務局】

- ・野洲の労働生産性人口については、調査が必要かと考える。
- ・令和7年の4月からですね、企業向けの助成制度を創設した。中小企業や小規模事業者向けにも中小企業等経営強化法があり、固定資産税の減税をしている。
- ・商工費を少しでも多く予算化できるよう財政局と協議したいと思う。

◇近隣市町との比較について

【委員】

- ・中間見直しに関して、事務局として中間時点での課題がどうであったのか、また当初の計画通りに進んだ要因や、それを今後どう活かしていくのかといった点が資料からは分かりづらく感じました。特に、近隣市町との比較を通じて、野洲市の実績や伸び率が適正だったのか、現状維持なのか、または今後さらに伸ばすべき余地があるのかといった視点があると、より分かりやすくなるのではないかと思います。

→【事務局】

- ・本来であれば、計画見直しにあわせて、成果が分かる資料を提示するのが望ましかったと思います。今後については、事務局内でも相談のうえ、草津・栗東・守山など近隣の湖南四市と共通指標で比較できる資料を可能な範囲で準備し、次回の委員会に向けてメール等で事前にお渡しできるよう対応したいと考えています。

◇駅前開発について

【委員】

- ・進捗状況が明確にわかる方がよい。市長が交代され、駅前の整備の方向性が変わったこともあり、駅前是非常に重要視している。交通の駅前のロータリーの話など、工業会でもいろいろ意見をしているが、そういった内容も取り入れてほしい。駅前は、商工業振興において大切な部分なので、計画の中に取り入れてほしい。

→【事務局】

- ・指摘した駅前や高専の変化については、今後の商工業の推進にどう活用していくかを、可能な範囲で計画などに反映していきたい。

◇その他ご意見

- ・駅前開発については、多くの市民が興味を持っている。基本目標に何らかの形で盛り込んでほしい。
- ・新しく住宅地ができ、年月が経過し、今では空き家も増えてきている。空き家を利用したビジネス等で、その地域の回復や課題の解決できれば、活性化するのではないか。
- ・交通インフラを整えることで、交通弱者への支援ができる。交通の利便性をあげることも一つの情報として入れることはできないか。